

サテライト開催!!

関西で受講できる
チャンス!

実習も!

抵抗温度計の校正

【 1 日コース : 9:30~16:30 】

見識が深まる講義

身に着く実習

抵抗温度計（測温抵抗体、指示計器付温度計）の要求精度を満足する校正を社内で実施するために必要な基礎技術、手法、留意点等について解説します。また、標準抵抗温度計との比較校正の方法、校正結果の補正について、実習を通して確認します。

■ 対象

温度計測の実務経験が3年程度の方
抵抗温度計の基本を確認したい方

■ レベル

基礎

■ 講師

日本電気計器検定所 職員

■ 受講料（税込）

JEMIC 計測サークル会員	24,200 円
非会員	28,600 円

■ 確認テスト

セミナーの最後に理解度を確認するテストを行い、合格者には合格証明書を発行します。

■ セミナーテキスト

紙媒体でご提供します。

■ プログラム

1. 温度のトレーサビリティ

温度の単位、国際温度目盛（ITS-90）、温度のトレーサビリティなどについて紹介します。

2. 標準白金抵抗温度計の定点校正

ITS-90の条件を満たした標準白金抵抗温度計の種類、使用上の注意点、定点校正法、不確かさ要因などを解説します。更に、その校正結果を用いた偏差関数の算出方法について、具体的な例をもって展開します。

3. 抵抗温度計（工業用白金測温抵抗体）の比較校正

工業用白金測温抵抗体の種類、特徴、比較校正法、不確かさ要因などを解説します。更に工業用白金測温抵抗体を標準器とした比較校正による校正結果の算出方法について、具体的な例をもって展開します。

また、デジタル温度計についても、具体的な例を挙げて解説します。

4. 実習

抵抗温度計の比較校正について、実習を通して理解を深めます。

サテライト開催について

■本社会場に参加のお客様

講義、実習共に本社会場となります。

■関西会場に参加のお客様

講義は関西会場にてオンライン受講し、実習は関西会場にご用意した実習機材を使用し、職員が説明しながら行います。本社会場と同様の形でご受講戴けます。

《裏面の説明もご覧下さい》

■ 2023 年度開催スケジュール

日程	会場	定員	お問い合わせ先
10月25日(水)	JEMIC 本社 (東京都港区)	24名	TEL : 03-3451-1205 kosyukai-tyk@jemic.go.jp
	JEMIC 関西支社 (大阪市北区)	8名	

※セミナー開催日の1か月前（10/25）に関西会場の申込者が4名に達しない場合、関西会場は開催中止とさせて戴きます（関西会場が中止の場合でも、本社会場は開催します）。



主に放射温度計を担当している方

»»

放射温度計基礎講座

主に熱電対を担当している方

»»

熱電対の校正

不確かさに関する基礎知識をお持ちの方で、温度分野の不確かさ評価を学びたい方

»»

事例で学ぶ不確かさ：温度編

◆ ◆ ◆ サテライト開催について ◆ ◆ ◆

- 関西支社では、本社からオンライン配信した講義を会場のプロジェクターで投影しますので、パソコンをお持ち戴く必要はありません。
- 講義時にご質問がある場合、関西会場参加のお客様も、本社講師にご質問戴けます。実習時の関西会場でのご質問は、関西支社職員にお尋ね下さい。

サテライト開催のイメージ→



■ セミナー会場のご案内

本社

東京都港区芝浦 4-15-7

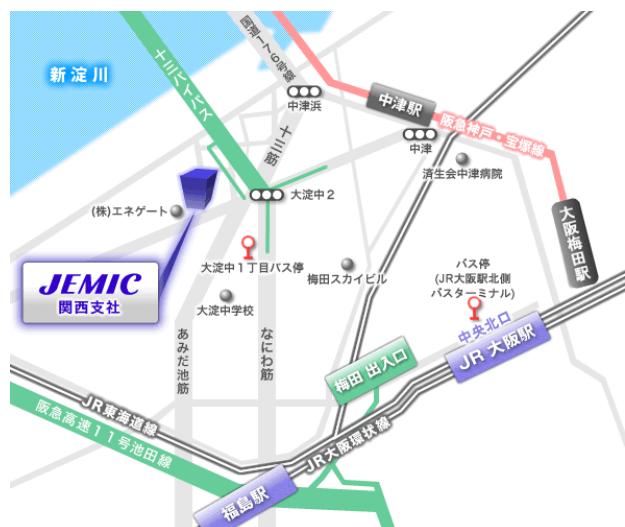
JR「田町駅」徒歩13分
都営地下鉄「三田駅」徒歩15分
JR「高輪ゲートウェイ駅」徒歩20分（芝浦方面改札口が未開設で道が解り難いため、お勧めしません）



関西支社

大阪市北区大淀北 1-6-110

阪急神戸・宝塚線「中津駅」徒歩10分
JR「大阪駅」、大阪環状線「福島駅」徒歩20分



■ セミナーのお申込みについて

- **JEMIC**ホームページから申込書をダウンロードし必要事項を入力の上、メールに添付してお申込み下さい。
- お申込み受理後、受講票をメールで、請求書を郵便でお送りします。
- 開催日の10日前までに連絡がない場合はご連絡下さい。
- 受講料は請求書に記載の口座にお振り込み下さい。振込手数料は貴社にてご負担下さい。

■ キャンセルについて

セミナー開催日の7日前（前週の同曜日。祝祭日の場合はその前日）までのキャンセルは1名様に付き1,000円を申し受けます。開催日の7日前を過ぎてからのキャンセルには応じかねますので、前日までにご連絡の上、代理の方がご出席下さい。参加者が少ない場合や止むを得ない事情により、開催を中止することがありますので、ご了承下さい。

■ 個人情報について

本セミナーの受講申込みにより取得したお客様の個人情報は、本セミナーに係る連絡に利用するほか、次の目的のために利用することができます。なお、お客様のお申出により、これらの取扱いを中止させることができます。①計測技術セミナーに関するお知らせ、②各種校正試験業務、検定業務、基準器検査業務等に関するお知らせ、③定期刊行物の発送、購読期限及び会員の集いに関するお知らせ